

この生長はすごい

辛川山コウヨウザンの生長調査

四万十森林管理署管内、辛川山国有林一七二林班内に平成二八年六月、「コウヨウザン萌芽更新試験地」を設定しています。

同年一二月には、森林総合研究所林木育種センターと、「コウヨウザン植栽地における共同研究に係る協定」を締結しています。（平成三十年二月末に間伐等を実施）

この協定に基づき、九月二五日（火）に、育種センターから六名の職員が来局し、打ち合わせ等を行い、二六日（水）には四万十署で調査内容について意見交換等を実施後、辛川山国有林で萌芽枝等の生長調査を行いました。

現地を確認された育種センター職員は、1mを超えるコウヨウザンの萌芽の旺盛な生長を確認し、「コウヨウザンの萌芽状況調査（東西南北別の樹高調査 写真上）や種子の採種（写真下）を行いました。当日、調査に同行された四万十署職員等の皆さまも苦労されました。



「森からのおくりもの」 100号に寄せて

技術普及課長

技術普及課広報誌「森からのおくりもの」は、100号を迎えました。

初号より、およそ14年 指導普及課を経て、今日に至っています。

ふり返ってみますと、森林環境教育から、地域連携したイベントへの参加や、シカ害等対策、技術開発の取組等など、文字どおり「森から」、「自然から」の恩恵を受けた取組を発信しています。

今後とも、局・技術普及課としての課題や取組を発信していきますので、引き続きのご愛読と感想、意見等もお寄せください。よろしく願いいたします。



編集後記

相次ぐ台風の襲来にも抗して、山々は今年も、紅葉の季節を迎えた。私たちも次の季節に向け、体調を十分に。



「アカトンボ」 って



秋、空を飛び交うアカトンボ（写真）の姿をよく見かけます。

アカトンボといっても、特定の種類の名前ではなく、ナツアカネ・アキアカネ・ヤマアカネ・ノシメトンボなど、秋になると体の色が赤くなるトンボの仲間の総称。中でも、アキアカネはアカトンボの代表選手。

アキアカネは、6月下旬ころ、平地の池や沼、水田などで成虫に。この頃は、未だ体の色は黄色っぽい。しかも成虫になったものから順に山の方へ移っていく。夏の暑い時期に高原や山に行った時、群れをなして飛んでいるアキアカネの夏の姿を。

やがて成熟し、秋になると産卵のため山から平地へ。雨上がりの秋晴れの日などは、オス・メスが「キ」の字に連なって数千、数万と群れをなして移動することもある。"おつながり"したアキアカネが、尾で池の水をたたいて卵を産む様子を見ると秋が深まった感が。

（街の自然観察 矢野亮より）